



さざんくろす



紀南看護専門学校
副学校長
楠本 素代

※「マオランの樹」

このたび、紀南看護専門学校副学校長に就任いたしました。

看護学校は昨年9月に竣工式を迎え新校舎に移転してまいりました。本年度より一学年の定員が40名となり学生数102名、職員数12名で新年度をスタートしました。

県内の看護系の学校は東京医療大学和歌山看護学部が開校し、大学を含め10校となります。

しかしながら、2025年問題にむけて医療と介護の連携強化が図られることにより看護師需要が高まり、地域医療を担う看護師はますます不足するといわれ、看護師の養成は地域社会にとって課題となっています。また、看護師の働く場も拡大され多様な場で専門医療人としての役割を発揮することが求められます。そのような将来を担う看護師を養成することに重責を感じ身の引き締まる思いです。

私自身も看護教育の経験はまだまだ浅く日々戸惑うことが多々あり、皆さんの協力を得ながら日々過ごしています。紀南看護専門学校の教育理念である『生命の尊厳と人格尊重を基盤に豊かな人間性を養い、専門職業人として常に自己成長に努め、社会に貢献できる看護師を育成する』ことを目指していますが、3年間の学生生活で看護に必要な知識・技術・態度を教授することの厳しさ、難しさを感じております。

看護は奥深く、とても一言で伝えきれものではありません。しかし、私たち教員の姿勢が学生の今後に影響することを常に肝に銘じ、看護教育に関わっていきたくと思っています。

当校の学生は地域の先生方、医療関係者の皆様、医師、看護師、コメディカルの方々、実習施設の皆様、そして何より実習で学生を受け入れてくださる患者様や地域の人々、多くの方の協力をいただくことで、大きな学びを得ることができていると思っています。そのおかげで、国家試験合格率は全国平均を保つことができています。

今後は紀南看護専門学校に入学した学生全員が、国家試験に合格できるよう職員と共に頑張っていきます。

まだまだ未熟な私ですが、看護教育にまい進していく所存でございますので、今後も皆様のご協力をよろしくお願いたします。

学校だより



5月2日(水) 看護の日
『幅広い知識や経験から看護に関連させて自己を振り返る』を目的に坂本助産所の前地雅子助産師さんによる講演がありました。「私の歩みから看護を考える」と題して貴重な体験をふまえたお話を聞かせて頂きました。



6月2日(土) 看護学生体験
地域の高校生(43名：女子40名・男子3名)が参加し、『バイタルサイン測定』を実施しました。これを機会に看護の仕事に興味を持ち、進路決定の参考にして頂けたらと思います。

※ 看護学校の「マオランの樹」は旧校舎より植樹されました。
花言葉「素直」～「看護師として、病と向き合う患者さんの気持ちに素直な心で寄り添い、やさしく照らす希望の灯火(ともしび)となる。」ことを願っています。

こんにちは、研修医2年目の川本有輝です。

もともと出身地は東京ですが、大学から大阪で一人暮らし、今は田辺市までやってきました。出身地の話をすると、まずなんで関西にきたの?と聞かれます。実に恥ずかしい理由なんです。高校生の時に「ろくでなしブルース」という漫画を読んで関西弁に憧れたから、というのが大きいんです。しかし、現実には厳しく、えせ関西弁を話す胡散臭い人になってしまいました。そして今は和歌山弁も混ざり、いよいよよくわからなくなってきました。患者さんと話して「先生こっちの人違うやろ?」とよく言われますが、グサッと心に刺さります。一方で東京に帰って同級生と久しぶりに話すとか関西弁話しているといじられます。居場所がないですね・・・。



研修医
川本 有輝

ぶるーちゅ



紀南病院で働き始めてから1年が経ちましたが、本当に楽しく充実した1年だったなと思います。同期とともにジムに通い始め、ダイビングのライセンスをとり、ときどきバスケット、フットサル、ボーリングしたり、春・夏のビーチラグビーの大会に出たり、温泉に行ったり、勝浦にマグロを食べに行ったり、親不孝通りに飲みに行ったり、白浜のコテージを借りてみたりと本当に楽しい思い出ばかりです。最近では、白浜に新しくできたサバイバルゲームに行ってみたりしています。こうして挙げてみると、真面目に研修しているのかと突っ込まれそうですが仕事は仕事でしっかりしている・・・つもりです。

仕事では1年前と比べてできることも増えてきましたが、それと同時により勉強不足を痛感させられています。1年目の最初のころは、業務を覚えることから始まり自分で考えて行動するというよりは指導医の先生に言われたことをするのに必死で仕事が終わっていました。しかし、少しずつ業務に慣れてくると、どうしてこの治療を選択するのか、他の治療法はどうかと次々と疑問が湧いてくるのでガイドラインを読んだり論文を読んだりすることが増えました。今は初期研修医なので、最終的にわからなくても指導医に先生に聞けば答えを教えてもらえます。しかし来年度からは、もちろんすべて自分で決めるなんてことはありませんが、一人で当直して、コンサルトされた時に責任をもって答えられるようにはなりません。そう考えると、際限なく勉強することがあるなと最近つくづく思います。紀南病院で働いている先生、看護師さん、コメディカルの方はすごく接しやすく、わからないことを聞いても嫌な顔せず教えてくださる優しい人ばかりでいつも甘えさせていただいています。

ENRICH

医療の現場から

皆さま、こんにちは。

ICUの宮田栄里子です。今日は嚥下委員会や摂食嚥下障害看護認定看護師としての活動を紹介します。



嚥下委員会は、摂食嚥下に問題を抱えている方を対象に、2007年から活動を行っています。早田先生を委員長とし、言語聴覚士、管理栄養士、病棟リンクナースでメンバー構成されています。

まず、誤嚥性肺炎患者への介入ですが、早期介入が患者の嚥下能力の維持に効果があるという研究結果から、内科と協力し活動を行っています。誤嚥性肺炎患者が入院すると、担当医から言語聴覚士に連絡が入り嚥下機能

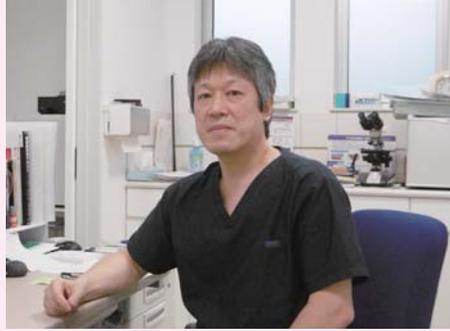


評価を行う、という流れになっています。食事形態の選択や耳鼻科医による評価の有無などを査定し、絶食に伴う嚥下機能低下の予防に努めています。

また、看護師の食事介助スキルの向上にむけて、POTT(ぽっと)プログラム研修を行っています。この研修は、ポジショニングを中心としている内容で、受講者が患者体験、介助者体験を行います。その体験から、受講者自身が行ってきた食事介助を振り返ることができ、研修後の食事介助スキルも向上しました。

口から食べることは、大切です。患者様の食べるが安全に行えるよう、今後も研修や活動を継続していきたいと考えています。

患者・介護者体験の様子



たなベクリニック院長
佐藤 壽浩

――先生の趣味、マイブームを教えてください。

旅行が趣味ですが今はほとんどできておりません。何処か遠くに行きたいなあと思いながら日々仕事をしています。

――ストレス解消（リフレッシュ）方がありましたら教えてください。

透析診療のため休日が少なく、なかなかリフレッシュすることができませんが貴重な休みは猫とのんびり過ごすことがストレス解消になっています。

――大学時代はどんな学生でしたか？

結構ぐうたらした生活を送っていました。同じようにぐうたらしていた同級生が出世している事が多く、ぐうたらにも質の違いがある事を思い知らされました。

――大学時代はどんな趣味をお持ちでしたか？

趣味というのも変ですが、沖縄に住んでいた頃、一日が終わりアパートに帰ると猫たち（餌を与えている）がぞろぞろと集まるようになり、その猫たちの世話をすることが趣味でした。現在は「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」にて罰則が科せられます…。ご近所の方々、どうもすみませんでした。（今は2匹の猫たちが同居しています）

――医者になると決めたのはいつ頃からですか？

小学生の頃にふと思ったことがありましたが、その後はその決意はなくなり、また何時の間にか医者になりたいと思うようになっていました。

――開業までの経緯を教えてください。

勤務医または開業医という二者択一で、透析分野での開業はかなりの融資を受けなくてはならず迷いましたが、いろいろな人に助けられながら実現しました。

――先生の目指している開業医像もしくは医院は？

当院は主に人工透析治療を行う診療所です。透析患者さんは週3回通院しておりますが、高齢化に伴い通院困難な患者さんが増加しております。そんな患者さんに元気で活気のある生活を送っていただきたく自分にできる事をしていきたい、と思っております。



佐藤先生は東京出身で和歌山に来て、もう15年余りになるとのことでした。奥さんとは沖縄の学生時代に知り合ったようです。

先生とのインタビューの中で奥さんの恵美先生と共に、透析患者さんに寄り添った医療を大切にしているんだ、と感じました。

佐藤先生、お忙しい中～インタビュー訪問～快く応じて頂き有り難うございました。

病院のまど

第71回市民健康講座

暑くなると熱中症にかかる人が大変多くなります。

平成29年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は、52,984人でした。

平成28年同機関の、50,412人と比べると2,572人増となります。

この機会に正しい知識と予防法を学びませんか？

日時 平成30年7月8日(日)
午後2:00~3:00

演題 **熱中症にならないために**
~してこう!

熱中症の予防と応急処置~

演者 古谷 保博(紀南病院
救急部主任部長)

会場 紀南病院 3階講堂

イベント



花の日!

紀南幼稚園児来訪

6月3日(日)に、紀南幼稚園の園児達が花の日の行事の一環として当院を訪問してくれました。とっても可愛い園児達が医師や看護師に「いつもありがとう」とお花を手渡している様子は微笑ましかったです。

編集後記

例年になく雨も少なく気温の上昇もなく過ごしやすい日が続いており、行楽には打ってつけの季節となっております。

私事ですが去年から始めた西国三十三ヶ所観音霊場巡りも、今回は2ヶ所目になる第六番札所の奈良県高市郡高取町にある壺阪寺に行つて参りました。

去年から開通した京奈和自動車道を利用すると田辺から約2時間の行程で途中和歌山市~御所までは無料区間のため、コスパも良く、新道が続くため非常に快適なドライブとなりました。

肝心の壺阪寺ですが、視力の低い筆者には打ってつけの眼病封じや、ゴダイゴの『ガンダーラ』を思い起こさせる天竺渡来大石像巡りなどがあり、新しいパワースポットとして何度も訪れてみたい気持ちにさせられました。

これからも『困った時の神頼み』ではなく『困る前の神頼み』を motto にどんどんパワースポットを見つけていきたいと思っています。

坂本尚充 記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



■本社 〒640-8287 和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市鎌伏20番22号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■医大前営業分室 〒641-0012 和歌山市紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒632-0082 天理市荒蕨町56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

生命を守る人の環境づくり
SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社